

Lesson

7¹

画像の配置

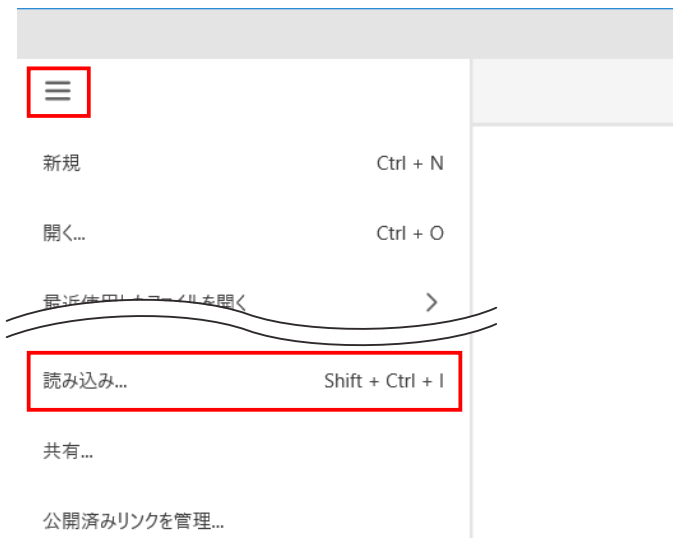
XD では、JPG・PNG・TIFF・GIFなど様々な形式の画像ファイルを読み込むことができます。ここでは、画像の読み込み方法と、画面上での調整方法について学習します。

● 画像の配置



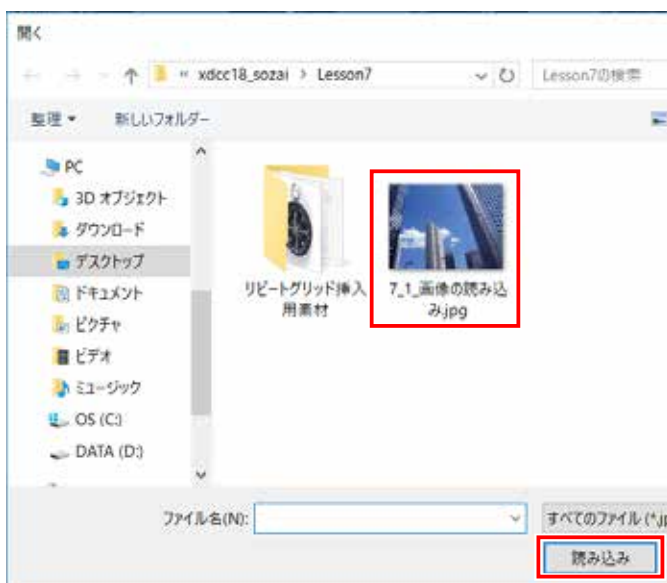
◆新規ファイルの作成◆

メニュー - 「新規」 から 「Web-1920」 をクリックし、新規ファイルを作成します。モードは 「デザインモード」 を選択します。



◆画像の読み込み

① メニューの 「読み込み」 をクリックします。

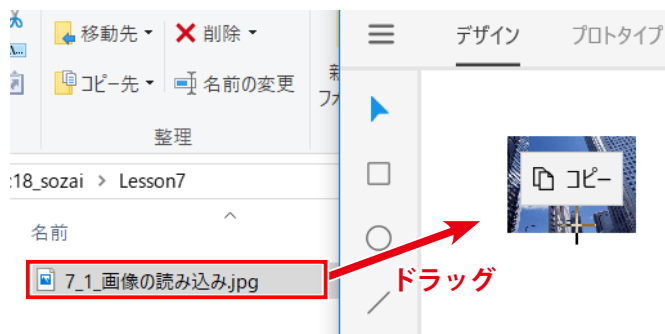


② 「開く」 ダイアログボックスが表示されます。素材フォルダーの 「Lesson7」 - 「7_1_ 画像の読み込み.JPG」 を選択し、「読み込み」 をクリックします。



アートボード上に画像が配置されました。

※ 素材フォルダから直接ドラッグして読み込むこともできます。



確認できたらファイルを閉じましょう。

● オブジェクト内への画像の配置

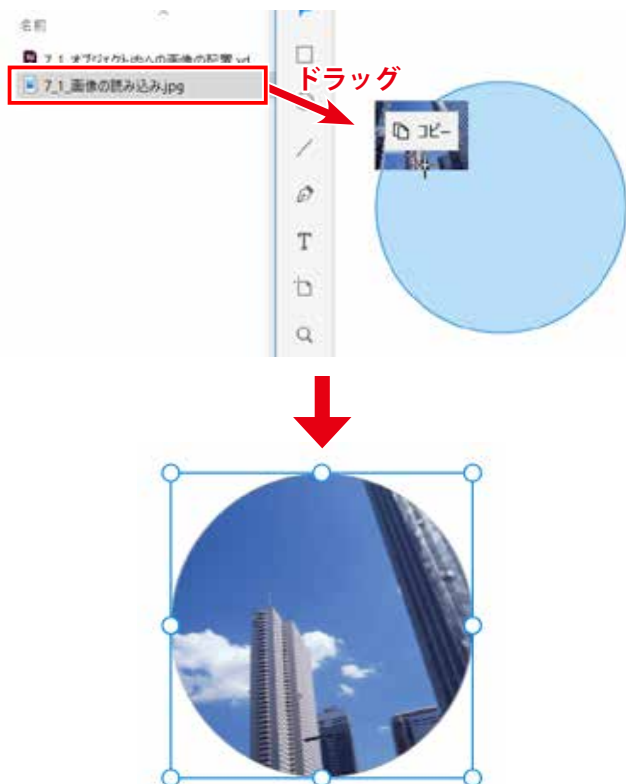


◆素材ファイルを開く◆

学習用素材ファイルを開きます。

素材フォルダー「Lesson7」から「7_1_ オブジェクト内への画像の配置 .xd」を開きます。

あらかじめ準備したオブジェクト内に画像をはめこむことができます。長方形や円などのシンプルなシェイプはもちろん、パス化したテキストなど、複雑なオブジェクトへの挿入も可能です。



◆オブジェクト内への配置

- ① 素材フォルダーの「Lesson7」 - 「7_1_ 画像の読み込み.JPG」を丸のオブジェクトの上にドラッグします。

丸のオブジェクト内に画像が挿入されます。

※ 画像を変更する時は、同じようにドラッグ操作をすることで、何度でも上書きして差し替えることができます。



テキストの形に画像をはめこみたい場合、テキストをパスに変換する必要があります。

◆テキストのパス化

- ① 選択ツールでテキストオブジェクト【TOKYO】を右クリックし、表示されたメニューから「パス」-「パスに変換」を選択します。

※ 素材ファイルで使われているフォントがなく、任意のフォントに置き換わっていることがあります。そのままかまいません。



テキストがパスに変換されます。ダブルクリックすると、文字の輪郭にアンカーポイントが表示されていることが確認できます。

※ パス化したテキストは、図形などと同じ扱いになるため、入力内容を変更することはできなくなります。



◆オブジェクト内への配置

- ① 先ほどと同様、素材フォルダーの「Lesson7」-「7_1_画像の読み込み.JPG」をパス化したオブジェクトの上にドラッグします。

【TOKYO】の形に画像が挿入されます。



確認できたらファイルを閉じましょう。

● リポートグリッドへの画像の配置



◆素材ファイルを開く◆

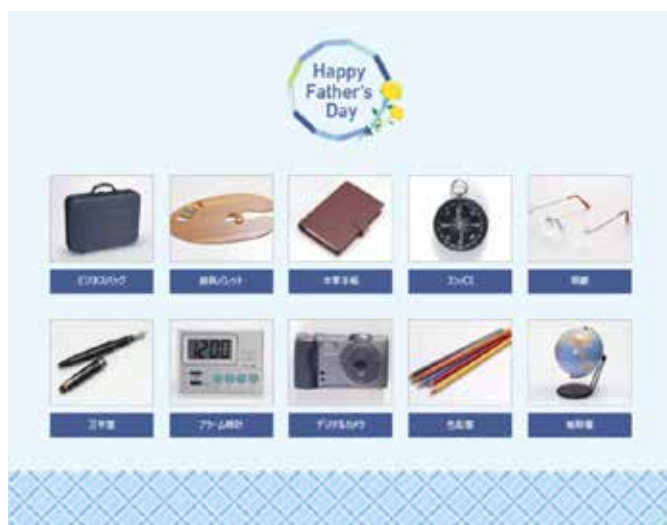
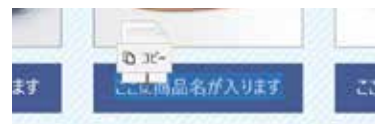
学習用素材ファイルを開きます。

素材フォルダー「Lesson7」から「7_1_リポートグリッドへの画像の配置 .xd」を開きます。



◆複数の画像の配置

- ① 素材フォルダーの「Lesson7」- 「リポートグリッド挿入用素材」の JPG データ 10 個をすべて選択したあと、「01.jpg」をクリックし、そこからリポートグリッドの長方形オブジェクトのどれか一つにドラッグします。
- ② 同じフォルダ内の「商品名.txt」をテキストオブジェクト上にドラッグして流し込みます。



画像とテキストがリポートグリッドに流し込まれました。

確認できたらファイルを閉じましょう。



リポートグリッドに流し込まれる順番

複数の画像をまとめて選択して挿入する場合、挿入先のどの位置のオブジェクトにドラッグをしても、ドラッグ操作の起点となった画像が左上に配置され、以降はファイル名順に挿入されます。並び順を厳密に管理したい場合、ファイル名の頭に連番をつけると良いでしょう。

02.jpg を起点にドラッグ

